

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	アフレコⅠ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名	声優コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	105時間
単位数	3単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回台本を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	富永みーな・瀧崎ゆり子		実務経験の有無・職種	有・声優、ナレーター、ラジオパーソナリティ	
この授業を受講する学生は、演劇を通じ自分を表現、体現する事を学び、また相対する人間の気持ちを想像する力を育む。さらに、声という限られた部位で感情を豊かに表現し、マイクワーク、スタジオワークなど技術的にもプロとして通じる事を可能にさせる。スタジオなど多様な現場において、その都度求められるプロとしてのパフォーマンスを可能とする。声優の現場に直結できるように即戦力になる人材を育てる事、声優に必要な演技力はもちろん、プロとしてアフレコ現場に入った時の業界マナーも習得させる事を目的としている。身体、精神、技術力を身に付ける事を狙いとする。					
到達目標					
一年次より習練した演技を、具体的かつ明確に、観客・又は求められた現場で可視化する事が出来る。絵に合わせるのではなく、キャラクターの心を表現できるようにする。スタジオでのマナーも身に付く。声優という芸能の一分野で社会人として評価され、長期に渡り活動可能な役者になる基盤を作る。さらに演劇を通じ自己を開放、表現する事を身に付け、自己肯定感を上げる事により社会組織において、深みのある人間関係を構築出来るようになる。					
教育方法等					
授業概要	基本発声、滑舌、エチュードを個人、グループワークにて繰り返し習練する事により体得する。 また、アニメ、外画、ナレーション、CDドラマ、ラジオなど声優に必要な技術と感情表現を講師が都度用意する台本、映像を使用し、実践しながら学んでいく。				
注意点	学生間、学生とのコミュニケーションを重視する。芝居、表現を習得すると同時に、他学生の演技を評価、取り入れる目、耳を養うため、私語や授業態度には厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験できない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	取り組む姿勢、結果で評価する。		
	成果発表 （口頭・実技）	40%	この時点における進歩、発展性で評価する。		
	平常点	40%	授業における意欲、態度、集中力を総合的に見て評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	自分の目標を明確にする		基礎訓練を再度確認しながら、この授業を選択した意味を自覚する。		
2回	1年次を振り返り、課題を見つける		エチュード等を行い、この1年で身に付けるべき事を具体的に意識する。		
3回	声優の職業内容、意義を知る		CDドラマの台本で演じ、社会における声優の歴史、存在意義を理解する。		
4回	スタジオ現場を体験		スタジオ内におけるマナー、使用法、その意味を理解する。		
5回	声の表現1		CDドラマ、アニメの台本、台詞を読解する		
6回	表現の深さ、広がりを知る		台本を読んで、体現する意味を理解する		
7回	スタジオでの実地練習1		スタジオマイク前での録音、プレビューにより自身の声を知る。		
8回	社会に出てから必要な力を養う1		アニメより深い読解力、表現を体得する。		
9回	スタジオでの実地練習2		スタジオにて、アニメ収録現場でのマナーを習得する。		
10回	社会に出てから必要な力を養う2		洋画の演技を体験し習得する。		
11回	スタジオでの実地練習3		ヘッドフォンの使用方法、マイクワークを習得する。		
12回	課題、スピーチ力を養う1		与えられた課題を理解し、表現する。		
13回	声の表現2		洋画等のアフレコの反復により感覚を記憶する。		
14回	スタジオでの実地練習4		演技を録音、プレビューにより自己の強みと弱点を研究する。		
15回	社会に出てから必要な力を養う3		現段階での自己の実力を理解する。		